

# 直線狭さく道路案

Transit Mall

STATION

- ・ Transit ソーンは幅員 3.5mを基本
- ・ Station 機能と併せて離合帯を確保 (幅員 6m)
- ・ 現行道路から将来的なトランジットモール化の際に無理のない構造 (メリット)
- ・ 街路樹の内側が「動的ゾーンで外側が「静的ゾーン」
- ・ 街路樹帯の足元空間で休憩施設を確保することで、移動機能を損なわずに滞留機能を創出できる

大径木街路樹

- ・ 緑陰創出
- ・ 景観形成

仮設店舗

グリーンインフラ

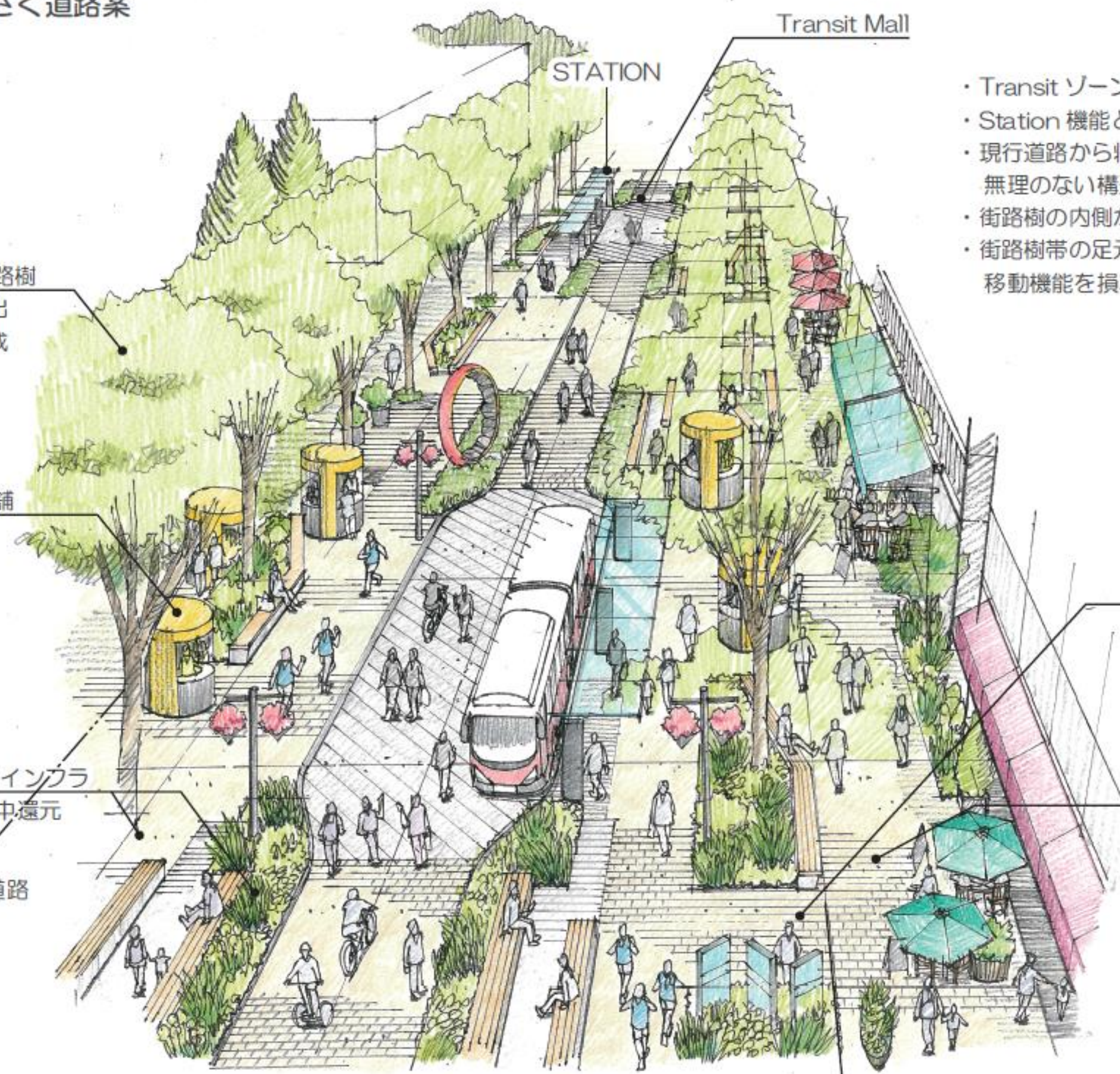
- ・ 雨水地中還元

民地 ←→ 道路

憩い、滞留ゾーン

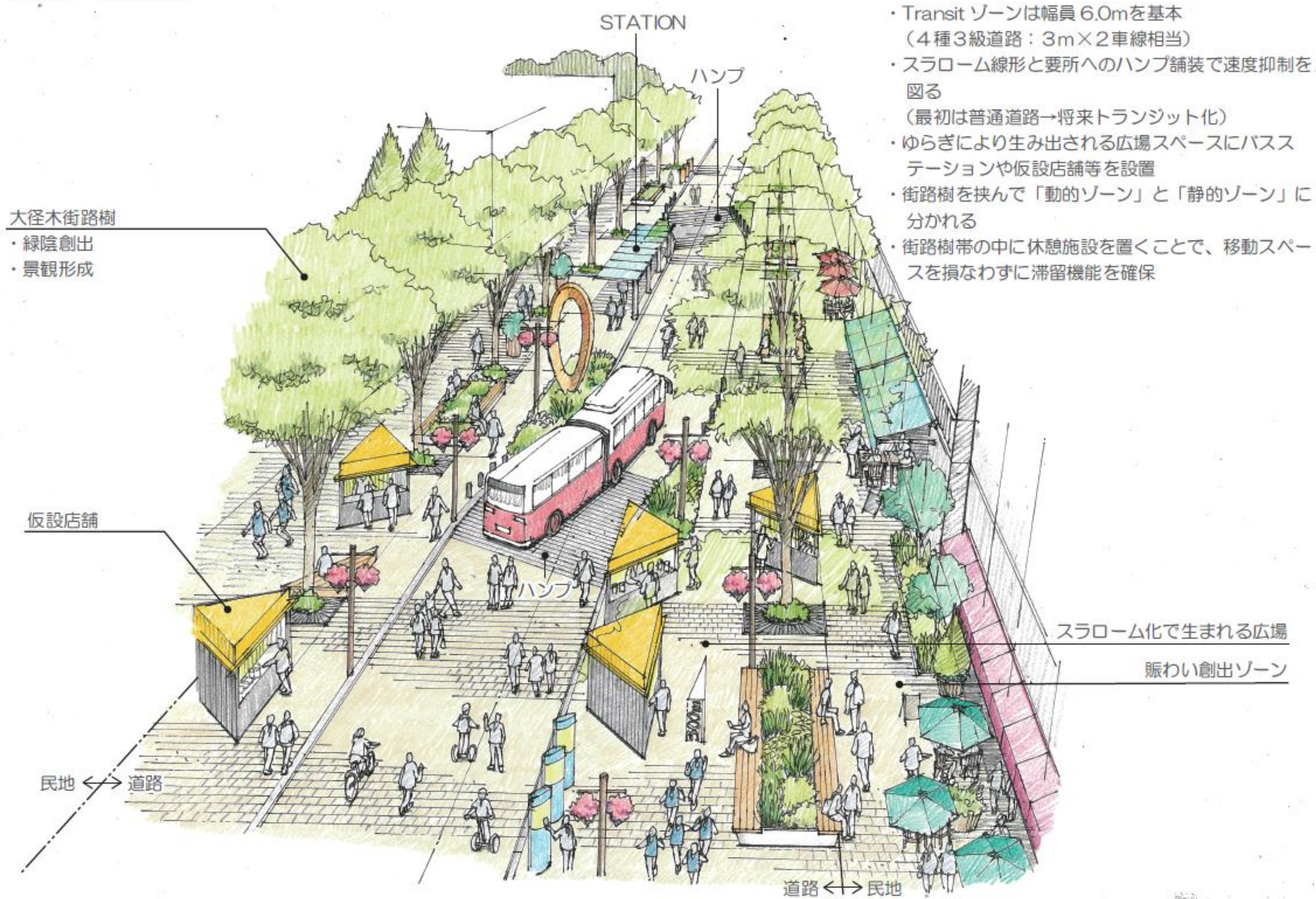
賑わい創出ゾーン

道路 ←→ 民地 (セットバック)





# スラローム道路案



- ・ Transit ゾーンは幅員 6.0mを基本  
(4種3級道路: 3m×2車線相当)
- ・ スラローム線形と要所へのハンプ舗装で速度抑制を図る  
(最初は普通道路→将来トランジット化)
- ・ ゆらぎにより生み出される広場スペースにバスステーションや仮設店舗等を設置
- ・ 街路樹を挟んで「動的ゾーン」と「静的ゾーン」に分かれる
- ・ 街路樹帯の中に休憩施設を置くことで、移動スペースを損なわずに滞留機能を確保

大径木街路樹  
・ 緑陰創出  
・ 景観形成

仮設店舗

民地 ↔ 道路

道路 ↔ 民地

スラローム化で生まれる広場  
賑わい創出ゾーン

STATION

ハンプ

ハンプ